

PRESS RELEASE

いつでも、どこでも鍵の開け閉め可能
不動産管理に特化したオンライン鍵管理システム

iNORTH KEY



リクルートテクノロジーズ独自開発のスマートロック「iNORTH KEY」、3月より本格展開スタート

株式会社リクルートテクノロジーズ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北村吉弘、以下リクルートテクノロジーズ）の研究開発機関アドバンスドテクノロジーラボ（以下 ATL）は、2017年3月29日より、不動産管理会社の内覧業務利用に特化したスマートロック「iNORTH KEY（イノースキー）」の本格展開を開始しました。

「iNORTH KEY」は、利用対象を不動産管理会社の内覧業務利用に特化した機能開発により、従来のスマートロック製品では応えきれなかった現場のニーズに対応。「鍵の受け渡しが必要だが対応できず、その日は内覧希望者に物件を見せることができない」「渡した物件の鍵で、きちんと施錠されているか不安になり、場合によっては現地までわざわざ確認に向かなければいけない」といった悩みを解決、不動産管理会社における従来の煩雑な業務の効率化を全面的にサポートします。



不動産物件に特化してこだわった点

本製品では、幅広いサムターン※1形状に対応できるのみならず、磁石を用いた固定方式を取り入れることで工事やオプションパーツなしでの設置・取り外しが可能です。さらに、スマートフォン一つで解錠・施錠を行える基本機能のほか、利用権限や内覧予約管理を一括で行える Web システム※2を用意。中央管理を行うことによって、「いつ誰がどの鍵を解錠 / 施錠したか」を記録できるなどセキュリティ面の強化も実現しました。

より多くの方に使ってもらうために

また、遠隔操作機能においても、中継機同士のメッシュ通信※3を行うことで安定した操作性を実現。本体価格 6,000 円（税別） / 月額利用料 380 円（税別）と、不動産管理会社での大規模利用を想定した導入しやすい価格設定になっています。不動産管理会社に対し、利便性だけでなく実用的で安全性の高いサービスを提供します。

公式サイトはこちら

<https://inorth.jp>

※近日中に公開予定となります

※1 サムターン…ドアの室内側についている、錠の開け閉めを行うために使う金具。サムターンのツマミを回すことにより、解錠 / 施錠を行う。

※2 Web システム…代表的な機能として、「利用権限設定を自動付与 / 管理する」機能と「物件内覧の予約を申請 / 管理する」機能を持つ。

※3 メッシュ通信…通信経路を固定せず、故障などで使えなくなった経路が発生しても、迂回し、安定的な通信を行う通信技術。

iNORTH KEY でできること



鍵を特定の人に、特定の時間だけシェアできる。複数の仲介業者へ同時に権限付与することも。



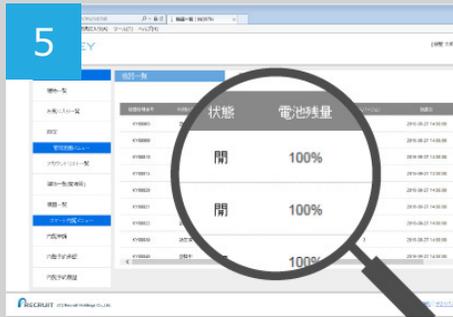
遠隔操作を使えば、鍵のかけ忘れゼロ。スマートフォン以外の携帯電話でも開け閉め可能に。



簡単・10秒で設置でき、あらゆる形状のサムターンに対応。しかもつけ外しは自由自在、物件に跡を残さない。



入退室履歴の確認や、離れた場所においても物件の解錠・施錠をリアルタイムに操作できる。

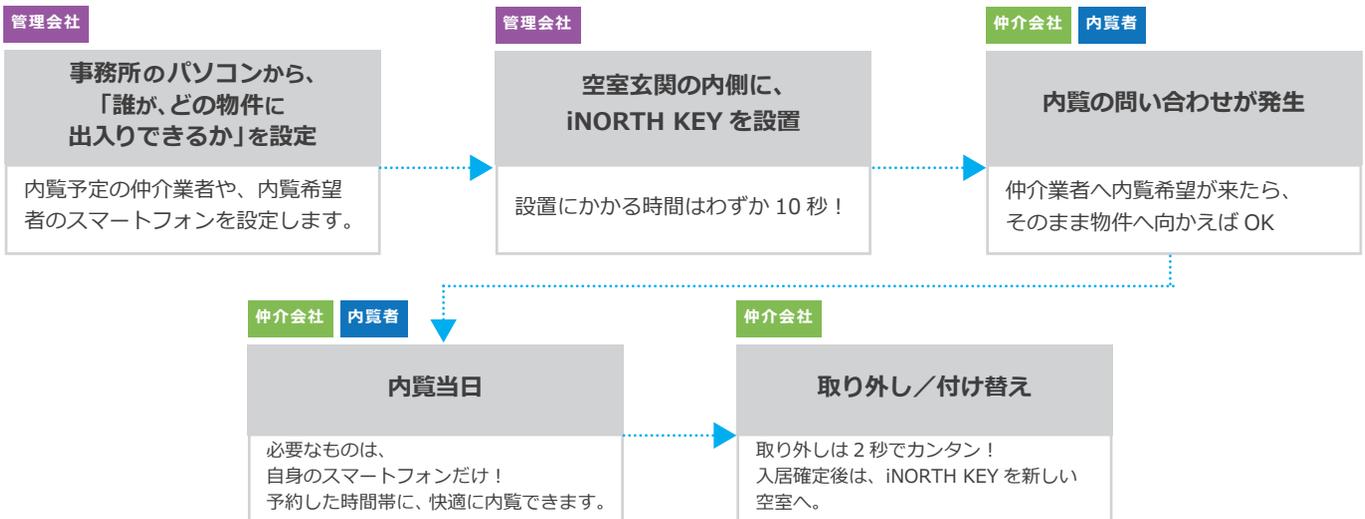


単3乾電池4本で2年間持続、しかも電池残量は事務所のパソコンからチェック可能。



仲介会社と管理会社で発生していた鍵の受け渡しをはじめ、鍵数の制限もなくすることで業務の効率化と使いやすさを実現。

iNORTH KEY の使い方（仲介会社を利用した内覧の場合）



iNORTH KEY がもたらす 5 つの効果

- 1. 鍵の受け渡し効率化** 内覧やメンテナンス時の鍵の受け渡し業務を効率化します
- 2. 物件問い合わせ効率化** 物件の問い合わせや、内覧スケジュール調整の高効率化、もしくは自動化が進みます
- 3. 鍵管理コスト削減** 鍵管理業務のコストが削減、管理物件増加時も現行人員で高品質なサービスを提供できます
- 4. 管理物件のセキュリティ向上** 空室物件のセキュリティ向上や鍵紛失リスクの軽減、データ活用を促進します
- 5. 運営コスト削減** 内覧業務のセルフ化により運営コストが削減、管理物件が増加しても人数そのままサービスの品質を保ちます

iNORTH KEY 開発のこれまで

これまで仲介会社が不動産物件の内覧案内を行う際には、部屋の鍵を保管している管理会社まで取りに行き、内覧後にまた返却しに行く必要がありました。その業務フローに改善の余地があると考えた ATL は、仲介会社の手持ちの“スマートフォン”が一時的に物件の“鍵”となるキーレスエントリーシステムの仕組みを構築し、昨年 1 月に効果検証を実施。昨年 7 月には実証実験の結果をふまえ、「内覧業務の効率化」や「入退室に関するセキュリティ強化」を実現した本製品の販売受付を開始しました。



iNORTH KEY

重さ	約 217.8g (電池なし : 158.7g)
サイズ	W56.9mm×H114.8mm×D84.5mm
動作電圧	DC4.5-7.2V
電源	単 3 乾電池 4 本
Connectivity	Bluetooth Low Energy
バッテリー期間	2 年間持続 ※1 日あたり 10 回の開閉を想定

料金説明表

	電子錠	中継機 (3G) ^{※4}	中継機 (リピーター) 乾電池 ^{※5}	中継機 (リピーター) ソーラー ^{※5}	エントランス ^{※6}
本体価格 (機器購入価格) <small>※送料は含まれません</small>	6,000 円 (税別) <small>※付属品として単 3 電池は含まれませんので別途ご用意ください</small>	14,450 円 (税別)^{※7}	4,450 円 (税別) <small>※付属品として単 3 電池は含まれませんので別途ご用意ください</small>	7,900 円 (税別)	7,250 円 (税別) <small>※付属品として単 3 電池は含まれませんので別途ご用意ください</small>
月額利用料金 (1 台ごと機器利用時に発生) <small>※機器の保守サービスは含まれません</small>	380 円 (税別)^{※8}	640 円 (税別)^{※9}	20 円 (税別)^{※9}	20 円 (税別)^{※9}	380 円 (税別)^{※8}

※ 4 中継機 (3G) : 1 棟に 1 台

※ 5 中継機 (リピーター) : 3 または 4 部屋に 1 台

遠隔操作機能について、中継機の「リピーター」と「3G」をどちらも購入・設置いただくことでメッシュ通信を行う。

※ 6 エントランス : 集合住宅等の設備として導入されている「エントランス自動ドア」を解錠するための製品。設置工事は管理会社にて実施する必要がある。

※ 7 2016/11/1 より価格を改定。

※ 8 利用期間中のみ月額費用が発生。

※ 9 購入された機器を利用開始すると月額費用が発生。

販売元

株式会社リクルートホールディングス

お問い合わせ先

株式会社リクルートテクノロジーズ

お問い合わせ窓口

iNORTH コールセンター



0570-006004



key-info@mail.inorth.jp

※本リリースについてのお問い合わせ先は次ページとなります。

リクルートテクノロジーズについて

株式会社リクルートテクノロジーズは、リクルートグループのビジネスにおける IT・ネットマーケティングテクノロジーの開発・提供を行っています。IT・ネットマーケティング領域の専門力・イノベーション力で、リクルートグループのビジネスを進化させることがミッションであり、「次世代技術の R&D・新ソリューションの開拓」「ビジネスの実装」といったテーマに取り組んでいます。



社名：株式会社リクルートテクノロジーズ

設立：2012年10月1日

資本金：1億円

従業員数：576名（2016年10月1日現在）

事業内容：IT・ネットマーケティングテクノロジーの開発・提供

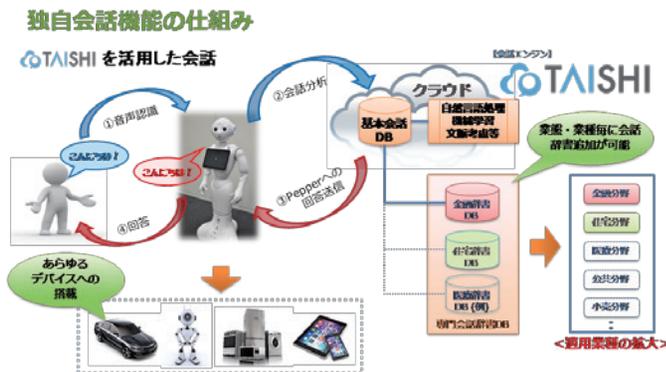
Web サイト：<http://recruit-tech.co.jp/>

アドバンスドテクノロジーラボ（ATL）について

リクルートテクノロジーズ内の研究開発組織。多くのサービスを持つリクルートグループの中で、新しい技術開拓によって次世代のトレンドをいち早く察知し、未来のサービスにいかせるようなソリューションを生み出す部署です。日常業務では使わないような新しい技術を噛み砕き、使いこなし、その技術をビジネスの武器となるような形で追求していける環境を設けています。自然言語処理による会話エンジンを開発し、人型ロボットに搭載して店舗の接客担当を任せるなど、複数の実証実験を実施しています。

独自会話エンジン「TAISHI」、沖縄銀行向けに金融知識をカスタマイズ

“文脈考慮”技術により会話の流れに沿った応答も可能に



リクルートテクノロジーズでは、「ロボットとの対話により、ITリテラシーが高くない生活者層に対しても、様々なIT技術や、Web上の情報にアクセスできる機会を提供したい」という考えのもと、自然な対話を行える会話エンジン「TAISHI」を独自に開発し、実証実験を重ねてきました。

2016年10月には、「将来的にITのバリアフリー化を実現する足がかりにしたい」と両社の意向が合致し、沖縄銀行5店舗に設置されたPepperへ「TAISHI」を搭載。

業界初の金融知識および“文脈考慮”技術※10を活用し、金融に関する対話業務（接客）を担っています。

※10 文脈考慮技術…これまでの一問一答ベースでの対話ではなく、直前の会話内容（文脈）を記憶して話す内容に反映する技術。

本件に関する報道関係者様からのお問い合わせ先

株式会社リクルートテクノロジーズ PR事務局 アウル株式会社

TEL : 03-5545-3888 FAX : 03-5545-3887 MAIL : rtc-ml@aur.co.jp